

**第2学年 国語科「6 いにしへの心にふれる 仁和寺にある法師—「徒然草」から」C 読むこと」**  
**古典作品の読解を通して人物像を想像し、作品に親しむ**  
**小浜中学校 佐藤 深鈴**

**I 単元の構成の工夫**

古典作品には、言葉の響きの美しさや古語の現代語と異なる意味の面白さがある。中学校では暗唱にとどまらず、歴史的な背景を知り、先人の考えを読み解き、現代を生きる自分たちと比較しながら読むことが求められる。そこで、本単元では、既習「枕草子」ので自分の生活をもとに表現した「オリジナル枕草子」の内容を交流した経験を生かし、最後に「オリジナル徒然草」を書く活動を設定した。学習の目的を明確に意識させることで「徒然草」の他の章段を併せて読むことの必然性を持たせた。さらに古典作品のおもしろさや登場人物、ひいては作者の人物像を多面的に捉えさせる学習を通して、自分が感じた作品の魅力や新たな発見を友達と伝え合うことへの意欲を高めたい。

**生徒の実態**

語彙が豊かであるため、「話す」活動や「書く」活動を好む生徒が多い学級である。現在の課題は、自分が満足する伝え方ではなく、相手に納得してもらおうように伝える語彙を身に付けることであり、この課題は生徒と共有している。また、学力差が大きく、想像力の個人差も大きい。

**単元を通して育成したい子どもの姿**

古典作品を読解し気づいたことや疑問などを伝え合うことにより、複数の資料から多面的に物事を捉えようとする姿。

**「単元構想の工夫」における ○成果と●課題**


- 単元のゴールが明確化されていることで、毎時間の言語活動の目的が明瞭になり、古典作品を学ぶ必要性が高まった。
- 人物像をまとめるワークシートの形式について、中心にまとめを据え周囲に吹き出しを付けたが、情報の数や内容が固定化されてしまったので、吹き出しを取り払い、複数の資料からフレキシブルに情報をまとめられる形式など、情報のまとめ方を工夫する必要があった。

**学習計画（総時数4時間）**

時	場面	学習活動（夢中になって学んでいる姿）	資質・能力
1	見通す  習得する	現代語訳や注釈をもとに古文を読み「仁和寺にある法師」の行動について兼好法師がどのように考えたかを読み取る。	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読み、作品に表れた、登場人物や作者のものの見方や考え方を説明することができる。（主）
2	考える  対話する	「徒然草」の他の段を読み、登場人物の言動の意味などについて考え、作者の人物像を書く。	複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。（思・表）
3 （本時）	考える  対話する	前時に読解した資料を持ち寄って情報交換を行い、より適した表現で作者の人物像を箇条書きで書く。	複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、作者の言葉に込められた意味などについて考えたりすることで、作者の人物像を捉えることができる。（思・表）
4	振り返る	文章構成を真似た「オリジナル徒然草」を書くことで、「徒然草」の特徴を体感する。	古典作品には、さまざまな立場や考え方が描かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（知・技）

## II コーディネートの工夫

＜本時のねらい＞ エピソードに添えられた作者の考えを比較して読むことで、作者の人物像を多面的に捉えて自分の言葉で説明することができる。

	学習活動・内容（T主な発問・C生徒の反応）	＜コーディネートの実際＞	＜コーディネートの改善＞
課題設定	<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <p>(1) 自分のエンジョイシートの感想欄を班で共有する。</p> <p>(2) 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">兼好法師は、どのような人物と言えるだろうか。</div>	<p>2 資料の分析をした結果を持ち寄り、情報交換する。</p> <p>T：班で自分の分析を紹介し合ってみましょう。</p> <p>C：人物像について話せばいいの？</p> <p>C：全部(の分析について)話しちゃっていいの？</p> <p>C：一つ一つについてしゃべっていきたくないかな？</p> 	<p>2 分析した結果について、人物像の共通点や相違点という観点を与えて情報交換させる。</p> <p>T：どんな人物だといえるか共有しましょう。共通点と相違点を挙げ、お互いに「なぜ？」と問い返して根拠をはっきりさせましょう。</p> <p>C：「優しい」と思った人はいる？いない？じゃあ、なんて書いた？</p>
課題解決	<p>2 資料の分析をした結果を持ち寄り、情報交換する。</p> <p>C：「『少しのことにも……』と言っている。しっかりと目的を達成するには、現状に合わせて人に頼ることが必要だと考えているのではないか。」</p> <p>C：「同じ話からだけど、同情していないように見えて、気の毒に思っているように感じました。気の毒な人を減らすために書いたのかもよ。」</p> <p>3 人物像を書く。</p> <p>4 読み合い、アドバイスし合う。</p>	<p>複数の資料について分析したが、どの資料について話すのか、人物像そのものについて話した方が良いのか、班での方向性を決めるのに時間がかかった。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>T：どのような人物だと考えたのか教えてください。</p> <p>C：優しいと思います。</p> <p>T：なぜですか。</p> <p>C：アドバイスのような内容が多いからです。</p> <p>T：なるほど！考えが似ている人はいますか。</p>	<p>話し合う観点を焦点化して話し合わせることで時間短縮を図り、この後の個人で人物像を書く時間と、振り返りの時間を十分に確保する。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>T：T：どのような人物だと考えたのか教えてください。</p> <p>C：優しいと思いました。</p> <p>T：「優しい」のですか？</p> <p>T：同じ言葉を使ってまとめた人はいますか。</p> <p>T：〇〇さんが言ったことをもう一度言えますか。</p>
振り返り	<p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(例) 兼好法師は、より良い結果を導くにはどうすれば良かったのか、この作品を読んだ人に気付いたことを教えてあげたい親切な人物である。</div> <p>6 エンジョイシート(ふり返りシート)を記入する。</p>	<p>時間がすれ込んでしまったため、タブレット端末で黒板に投影しながら紹介することになった。</p>	<p>紹介しながら問い返し、説明や再生をさせることで、友人のまとめに興味を持たせ、根拠を明確にしているか、適切な表現を使っているかという観点で、学習課題に対する相互評価をすることが可能になる。キーワードのみ、板書していく。</p>
<p>「コーディネートの工夫」における ○成果と●課題</p> <p>○ 電子黒板とタブレット端末を利用して、黒板内にまとめを投影するスペースを作っておいたため、短時間で複数名の生徒のまとめを紹介することができた。</p> <p>● 下位生徒への支援が不十分になった場面があったことと話し合いに時間を要したことから、具体的な観点を示してから中心となる言語活動を行い、全員が作者の人物像を自分の言葉で書くことができるようにしたい。</p>			